

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103055
大学名	順天堂大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	東京都
大学全体の総収容定員数	6,759 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	医学部（医学科）、スポーツ健康科学部（スポーツ健康科学科）、医療看護学部（看護学科）、保健看護学部（看護学科）、国際教養学部（国際教養学科）、保健医療学部（理学療法学科、診療放射線学科）、医療科学部（臨床検査学科、臨床工学科）、健康データサイエンス学部（健康データサイエンス学科）		

2. 事業概要

順天堂大学は、千葉県市原市（候補地）に新しいキャンパスを開設し、「食」と「農」の分野を取り巻く社会的課題の解決に貢献する人材を養成するために、入学定員200名、収容定員800名からなる食農学部（仮称）を令和8年度に開設する計画を検討している。本学は、人々の「健康」をテーマとして教育研究を行っている健康総合大学であり、「食」と「農」は人々の健康と関係が深い分野である。食農学部（仮称）では、食を支える農業の生産から食料・食品として生産され消費されるに至るプロセスを総合的に学ぶとともに、食と農に関わるビジネスにおけるマネジメント力の育成を図る。生産効率の高い農業生産を実現するための「AI、ICT、ロボット技術、カーボンニュートラル、スマート農業」といった先端技術やバイオサイエンスを利用した品種改良技術も取扱い、 地元企業や団体との連携のもとで、農場の実習、食品科学の実験、企業でのインターンシップを通じて 、将来食品及び農学系の関係の分野でグローバルに活躍できる人材の育成を目指す。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	食農学部 農業技術学科・食品科学科・食農マネジメント学科					
設置等組織の学位分野	農学関係					
当該学部等の所在地	千葉県市原市					
入学定員	200 名					
収容定員	800 名					
入学定員の増加数	200 名					
他学部等の入学定員の減少数	0 名					

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

【基本情報】

改組予定年度：令和8年度

改組内容：学部の新設

設置等組織名：食農学部農業技術学科、食品科学科、食農マネジメント学科

入学定員：【R8新設】200名

所在地：千葉県市原市

【養成する人材像】

- ① 世界的に課題となっている「食」と「農」に関する諸問題に対し、真摯に向き合い、医療的視点も含めて課題等を把握・解決し、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の養成。
- ② 豊かな人間性と異分野の関係者との連携・協働ができる協調性を持った人材の養成。
- ③ ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、グローバルな分野で活躍できる人材の養成。

【学部教育課程・システム】

- ① 農業の生産・加工・流通・消費の一連の過程を理解して、ゲノム編集技術による品質改良等の取組を中心とした生物的・化学的（biological and chemical）な側面及びAI、ロボット技術やIoT機器によるデータ収集分析、高品質生産を実現する生産管理システム等の工学的（mechanical）な側面から農業技術を学修する。
- ② 基礎から応用に至る食品科学の分野（食品機能学・食品分析学・食品素材学・食品加工学・食品保蔵学等）を包括的に学修する。
- ③ 農学や食品、食品産業に関する経済・経営・マーケティング等の専門的知識を取得し、食品・農業に関する社会経済的な諸課題の解決を図ることのできる教育課程を編成し学修する。

【産学官連携】

- ① 順天堂大学食農学部（仮称）設置構想協議会を設置。
- ② 食農関係の地元企業・団体と連携し、学外実習やインターンシップを実施。
- ③ 学部開設後、速やかに研究開発拠点として食農学系大学院の開設を準備し、オランダ・ワーヘニンゲン大学（フードバレー）をモデルとした「食農イノベーションリサーチセンター（仮称）」を併設。地域や食品・農学関係企業、研究機関を集積した産学官連携拠点を形成して企業の課題解決や新商品開発等のニーズに対応する研究開発体制の整備を目指す。

順天堂大学食農学部（仮称）
設置構想協議会

メンバー：食農関係の企業・団体、市原市役所、市原商工会議所関係企業・団体、学識経験者、順天堂大学

協議内容：養成する人材像、教育課程、学外実習・インターンシップ等

【学科構成】

農業技術学科

農作物を安定的に供給する技術や農産物の生産から加工・流通・供給・消費に至るプロセス、バイオテクノロジーに基づくゲノム編集技術による品質改良等の取組やロボット、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業技術についても学修し、農業生産の向上に貢献できる人材を育成する。

食品科学科

食品機能学・食品分析学・食品素材学・食品加工学・食料保蔵学等を包括的に学修し、商品開発や食品の安全性の向上等、食の専門家として食品領域で新たな価値を創造できる人材を育成する。

食農マネジメント学科

グローバル化する食と農について、その役割、文化、経済、経営、政策等、様々な角度から学修し、農業経営やフードビジネス、政策立案等を通して課題解決に向けて社会で活躍できる人材を育成する。

【人材ニーズ】

第6期科学技術・イノベーション基本計画において、分野別戦略として食料・農林水産業について、食料・農業・農村基本計画に基づき、農林水産業以外の多様な分野との連携により、スマート農林水産業政策、環境政策、バイオ政策等を推進することとされている。本学食農学部は、同計画に掲げられた「農業の持続性確保に向けた人材の育成・確保」「食品産業における労働力不足への対応」「食品製造段階における衛生管理・品質管理の向上に取組める人材」「海外への商流構築、プロモーションの促進」等に資する人材養成を行う計画である。

【外部資金獲得計画】

- ① 産学連携による共同研究、寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座の設置を推進する。
- ② URAを中心とした組織的な研究支援体制を強化し、科学研究費補助金等の競争的研究費の更なる充実を図る。

【多様な入学者確保の取組】

- ① 多様な学生の確保に向け、複数の入試方式・入試科目による入学者選抜を実施。
- ② 女子学生の確保に向け、女子高校に指定校推薦枠を設定。
- ③ 地域の高校との高大連携により、出張授業やゼミナール体験を実施。
- ④ 外国人留学生の受入れ目標を入学定員の20%に設定し、留学生寮の整備や課外授業として日本語講座を開講する。

【教員編成】

- ① 農業や食品の生産から消費に至るプロセスを学修することから、専門教育科目において実務経験のある教員を配置する。
- ② 教員採用に当たり、教育研究業績に加えて実務経験を評価の対象とする。